



〒101-8380
東京都千代田区三崎町3丁目3番23号(ニチレイビル)
TEL: 03(5275)8800(代) <http://www.fgl.co.jp/>



CSR 報告書 2008

ダイジェスト版



目次

2 目次／編集方針	12 ● 株主の皆様とのかかわり
3 経営理念／社長メッセージ	13 ● 地域社会とのかかわり
4 リース事業を通じた社会への貢献	14 ● 従業員とのかかわり
5 ESCO サービス	15 ● 芙蓉総合リースグループの環境方針
6 芙蓉リース販売 資源の有効利用に貢献 ・立川リユースセンターの活動 ・廃棄物処理の管理	16 ● ISO14001 認証取得状況
8 ● コンプライアンス	17 ● 環境教育
10 ● 芙蓉総合リースグループのステークホルダー	18 ● オフィスにおける環境への取り組み
11 ● お客様とのかかわり	19 会社概要

編集方針

編集の考え方

本報告書は芙蓉総合リースグループのCSR（企業の社会的責任）活動に関する報告書のダイジェスト版です。なお、編集にあたっては、GRIガイドライン2006を参考としました。

対象範囲

[芙蓉総合リース]

芙蓉総合リース株式会社単体を指します。

[芙蓉総合リースグループ]

芙蓉総合リース株式会社及び子会社175社及び関連会社5社を指します。

(注)本CSR報告書の各ページにおいては、子会社名を記載するにあたり「株式会社」の文言は割愛しています。

対象期間

2007年4月1日から2008年3月31日までとし、2008年4月1日以降の重要な情報を反映しています。

発行日

2008年10月

詳細な情報については、ホームページ「CSR経営」をご覧ください。

<http://www.fgl.co.jp/fgl/csr.html>

経営理念

- リース事業を通じて企業活動をサポートし、社会の発展に貢献する。
- 顧客第一主義に徹し、最高のサービスを提供する。
- 創造と革新を追求し、株主・市場から評価される企業を目指す。
- 自ら考え積極的に行動する社員（従業員）を育て、働き甲斐のある職場を創る。

社長メッセージ

社長からのご挨拶

私が理想とする会社は、どのような経済環境、経営環境の下にあっても、常にお客様から支持される会社です。経済も社会も変化します。お客様のニーズも時代とともに変化し、多様化していきます。お客様の求めるサービスを絶え間なく提供し続ける会社でありたいと、今後も自らを変革し、理想の会社へ向かって挑戦してまいります。

芙蓉総合リースは1969年の設立以来、総合リース会社としてたくさんのお客様の事業をサポートさせていただいてまいりましたが、今後もリース、ファイナンスのプロとしてさらに磨きをかけ、質の高いソリューションを提供してまいります。

CSR活動においても、芙蓉総合リースグループの特色を活かして、リース・ファイナンスを通じた活動を展開しています。

この「CSR報告書2008 ダイジェスト版」は、「CSR報告書2007」に寄せられた「簡易版、詳細版に分ける工夫を期待する」とのご意見に基づいて作成しました。今後も、できる限りステークホルダーの皆様のご意見を反映したコミュニケーションに努めてまいります。「ダイジェスト版」に対しても、引き続き忌憚のないご意見・ご感想を賜りますようお願い申し上げます。

2008年10月

取締役社長 町田 充



リース事業を通じた社会への貢献

芙蓉総合リースグループは、リース事業を通じて社会への貢献を果たしています。

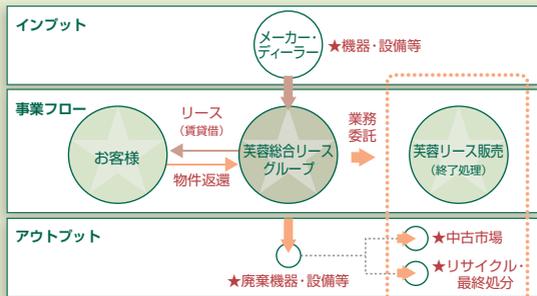
お客様の資金調達をご支援する金融機能を通じた社会への貢献

環境分野では、お客様が省エネ設備等を導入される際の資金調達面で、環境配慮型物件のリース、エコカーリース、風力発電事業へのプロジェクトファイナンス、ESCOサービスなどを通じてご支援しています。



リース終了後のリース物件の処理を通じた社会への貢献

リースした機器・設備等がリース契約終了後、芙蓉総合リースに返還されるため、リユース(再使用)やリサイクル(再生利用)などで循環型社会構築に寄与しています。



ESCO サービス

省エネ活動に役立つESCOサービスのご提供

芙蓉総合リースは、環境機器や省エネ設備などの環境配慮型物件のリースを全社で積極的に推進するとともに、風力発電事業へのプロジェクトファイナンスやESCO (Energy Service Company) サービスの提供など専門性の高い事業を展開しています。

ESCOサービスとは、ESCO事業者がお客様に省エネルギー改善に必要な、技術・設備・資金などを包括的に提供するサービスです。お客様は、省エネに伴い水道・光熱費を削減することができ、削減費用の一部からESCO事業者へサービス料を支払います。

沖縄県立北部病院様向けESCOサービスでは、芙蓉総合リースを含めた7社で構成する共同事業体(代表: 横河電機株式会社様)がESCO事業者として、省エネ促進に向けたサービスをご提供しています。

沖縄県立北部病院様は、ESCOサービスを導入することにより省エネを推進し、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出量を削減することができます。



沖縄県立北部病院 様



貫流ボイラー

お客様: 沖縄県立北部病院 様
導入設備: 高効率インバーターボ冷凍機、貫流ボイラー、他
省エネ予想効果: 二酸化炭素削減量
 年間2,100 (t-CO₂)
本格稼動: 2008年4月

芙蓉リース販売 資源の有効利用に貢献

芙蓉リース販売は、リース契約満了処理により、再リースを通じてリデュースを、リース終了時の物件処分を通じてリユース、リサイクルを推進しています。

2006年2月に東京都立川市に立川リユースセンターを開設し、3R*を実践する取り組みで、社会に貢献しています。

* 3Rとは、Reduce(リデュース：廃棄物の発生抑制)、Reuse(リユース：再使用)、Recycle(リサイクル：再生利用)のことです。



立川リユースセンター



データ消却作業



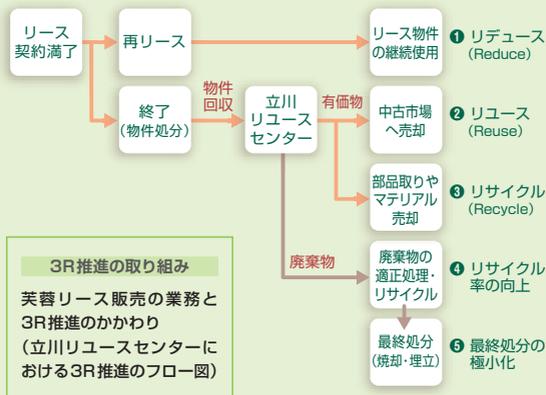
商品化作業



入札会を待つPC群

立川リユースセンターの活動

立川リユースセンターでは、芙蓉総合リースグループの環境方針である「循環型社会の構築への寄与」を推進するため、3Rの取り組みを積極的に行っています。



廃棄物処理の管理

リース終了物件の処分は立川リユースセンターを中心にリユース、リサイクルの取り組みを推進し、極力廃棄物の処理量の削減を図っています。また、廃棄物として処理を行う場合には産業廃棄物処理の許可を持つ全国33カ所の優良処理業者に廃棄処理を委託しています。委託処理業者の管理については最低年1回専門の担当者が現地訪問調査を実施し、格付表による評価を継続しています。格付表の評価項目は、情報公開性・順法性・環境保全への取り組みのほか、リサイクル率の項目も設定しており、リサイクル率の高い処理業者を選定することにより、最終処分の極小化を推進しています。

電子マニフェストへの切り替え、また2007年10月に施行された改正フロン回収・破壊法に伴うフロン行程管理等廃棄物の処理工程の管理についても徹底しています。

コンプライアンス

■ コンプライアンス・プログラムの推進

芙蓉総合リースグループでは、毎年コンプライアンス・プログラムを策定し、法令の制定、改廃や新たな法制度への対応、情報管理の徹底など、コンプライアンスにかかわる重要テーマを掲げ、研修等により従業員に周知徹底しています。

コンプライアンス・プログラムとは、コンプライアンスを実現するための具体的な実践計画のことをいい、その進捗、見直しについては、コンプライアンス委員会で協議し、コンプライアンス体制の強化・充実を図る施策を講じています。

■ コンプライアンス相談窓口

2003年3月に社内にコンプライアンス相談窓口を設置していましたが、2008年6月に提携弁護士事務所へ社外のコンプライアンス相談窓口を新たに設置しました。尚窓口とも、コンプライアンスに関する相談窓口及び「公益通報者保護法」に基づく事業者内部の通報窓口としています。

相談・通報の受付内容は、法令違反などの公益通報に限定せず、芙蓉総合リースグループの企業行動規範に違反する行為や、セクシュアルハラスメントに関する事項の相談、及び業務遂行上「不自然ではないか」「不適切ではないか」と感じた事柄も含め、幅広く受け付ける体制としました。

■ 「FGLグループ・コンプライアンス委員会」について

芙蓉総合リースグループ全体のコンプライアンス向上を目的として、2007年7月から四半期ごとに開催しています。芙蓉総合リースのコンプライアンス統括役員を委員長に、関係会社の社長などコンプライアンス統括責任者が委員として参加し、コンプライアンス全般についての協議・報告を実施しています。

■ コンプライアンス研修

芙蓉総合リースでは、コンプライアンス・マニュアルを社内イントラネット上に常時掲載して従業員全員の閲覧を可能にしており、毎年1回更新を行って、チェックリストにより各部署内で更新の内容の周知徹底を図っています。

コンプライアンス研修は、集合研修として、全従業員を対象とした研修、階層別研修を実施するとともに、CSRコンプライアンス室からスタッフが支店・関係会社を訪問して研修を行っています。2007年度の研修形態・対象者・テーマ・回数は以下のとおりでした。

● 集合研修

対象者	テーマ	回数
全従業員	不当要求の手口と対応	1回
新入社員	CSR、コンプライアンス入門	2回
役職者等	金融商品取引法等	1回
新任管理者	パワーハラスメント防止等	1回

● 訪問研修

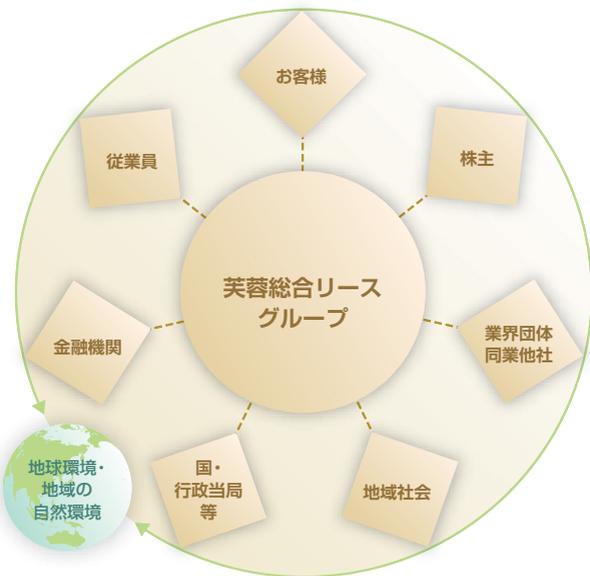
対象者	テーマ	回数
本社・首都圏支店 関係会社社員	セクシュアルハラスメント、 インサイダー取引規制、 秘密情報管理、 飲酒運転厳禁等	1回



コンプライアンス研修
日本担当証券

芙蓉総合リースグループのステークホルダー

芙蓉総合リースグループは、さまざまなステークホルダーからの期待を理解し、その期待に応えていくことによって、社会との信頼関係を構築することをCSR活動の基本としています。



お客様とのかかわり

芙蓉総合リースグループは、お客様の大切な情報の管理に留意しつつ、多様なニーズに柔軟かつ迅速に対応できるサービスのご提供に努めています。

■ 情報セキュリティへの取り組み

情報管理を徹底するため、情報管理体制の評価を実施し、適切な仕組みを社内で構築し、従業員に周知・徹底を図っています。

● 過去2年間の主な取り組み等

2006年度	<ul style="list-style-type: none">● 外部メール送信部署の自主管理体制の強化● 外部記憶媒体の利用制限実施
2007年度	<ul style="list-style-type: none">● フィルタリングソフト導入による一部のWebサイトへのアクセス制御● 関係会社の外部メール・データ等の管理強化

■ 新リース会計基準及び税制の改正

2007年3月30日に企業会計基準委員会より、新リース会計基準が公表され、これまで、ファイナンス・リース取引のうち所有権移転外ファイナンス・リース取引は、一定の注記を条件として賃貸借処理を行うことができましたが、当該処理が廃止となりました。

これに伴い、平成19年度税制改正において、リース取引(ファイナンス・リース)に関する税務上の取り扱いも売買処理に一本化されました。

芙蓉総合リースは、お客様に制度改正を正しくご理解いただくため、営業担当者だけでなく、経理部等の専門セクションも帯同し、改正について説明しています。

また、新リース会計基準に対応した会計資料を無償で提供するサービスを開始しました。「帳票」による提供と、Webによる情報提供サービス「FLOW」をご用意しています。

株主の皆様とのかかわり

■ IRの考え方

芙蓉総合リースは2004年12月に東京証券取引所市場第一部に上場し、開かれた透明性の高い経営を行うことを目指し、わかりやすい情報開示に努めています。

2007年度は、半期ごとの決算説明会のほか、のべ28回にわたり、機関投資家やアナリストの皆様とのミーティングを実施しました。

今後も投資家の皆様との積極的なコミュニケーションを進め、芙蓉総合リースグループに対する理解を深めていただくことを目指しています。

■ 株主還元に関する基本方針

芙蓉総合リースグループは、業績及び経営目標などを勘案し、経営基盤・財務体質の強化を目指して株主資本の充実に努めるとともに、株主の皆様への長期的・安定的な利益還元に努めることを基本方針としています。また、株主の皆様からの日頃のご支援にお応えするため株主優待制度を実施しており、毎年3月31日時点で100株以上を保有いただいている株主様へ、一律3,000円相当のカタログギフト(郵便局の選べるギフト(鳥コース))を贈呈しています。



地域社会とのかかわり

■ 社会貢献方針

2007年10月、社会貢献方針を策定しました。2008年度より社会貢献プログラムに基づいて活動を開始しています。

社会貢献方針(抜粋)

第3条(社会貢献の対象分野)

以下の対象分野について取り組む

- ① 環境
- ② 地域社会への貢献
- ③ 学術・研究
- ④ 災害被災地支援

第4条(実施の判断基準)

以下の基準に照らして実施の判断を行う

- ① 社会からの理解
公共性が高く、広く社会の理解が得られる取り組み
- ② 当社の特徴を活用
当社のノウハウや商品・サービスを活かした取り組み

■ 社会貢献への取り組み

地域コミュニティ

アクア・アートは、環境教育用の教材として、地元の幼稚園に毎年水槽を寄贈しています。現在までの寄贈台数は7台となりました。



幼稚園に寄贈した
アクア・アート水槽

従業員とのかかわり

芙蓉総合リースグループは、「自ら考え積極的に行動する社員(従業員)を育て、働き甲斐のある職場を創る」を経営理念に、「最高の顧客サービスを創出する強いリース会社」を支える「強い人材」づくりに努めています。

■ 人材に対する基本姿勢

芙蓉総合リースグループは、差別のない公平・公正な採用選考を基本方針としています。

また、職場で働く人々が互いに人間性を尊重し、成長できる機会を提供しています。

■ 能力開発、人事処遇、キャリア形成支援

芙蓉総合リースグループでは、お客様に優れたサービスを提供するために、一人ひとりが専門知識を高めていくと同時に、社内に蓄積されたノウハウ・情報を広く共有できる企業風土を目指しています。

■ 従業員の働きやすさ向上に向けた取り組み

社員一人ひとりの価値観や生活スタイルを尊重しながら、社員の能力と意欲を最大限に引き出すための制度や支援を講じることで、働き甲斐のある職場づくりに取り組んでいます。

- コース転換制度
- 高齢者活用
- 社内公募制度
- 自己申告制度
- 仕事と家庭の両立支援

次世代育成支援対策推進法に基づく基準適合一般事業主の認定を受け、「次世代認定マーク」を取得しました。



次世代認定マーク

芙蓉総合リースグループの環境方針

環境理念

芙蓉総合リースグループは、「リース事業を通じて企業活動をサポートし、社会の発展に貢献する」というグループ経営理念に基づき、企業活動を通じて地球環境の保全に配慮して行動し、次の環境方針に沿って、環境問題への取り組みを推進していきます。

環境方針

■ 1. リース事業を通じた地球環境保護

リース、レンタル、金融等の事業活動において地球環境保護に寄与する商品・サービスの提供に努めます。

■ 2. 省資源・省エネルギー活動の推進

事業活動に伴う資源・エネルギーの消費による環境への負荷を認識し、省資源・省エネルギー活動及びグリーン購入に努めます。

■ 3. 循環型社会構築への寄与

リース終了物件処分の堅確な事務体制を構築します。

■ 4. 環境関連法令等の順守

環境に関する法令や当社の同意した協定等を順守します。

■ 5. 環境マネジメントシステムの確立

環境マネジメントシステムを活用して、環境目的及び目標を設定し、定期的見直しを行い、環境マネジメントシステムの継続的な改善を図り、環境汚染の予防に努めます。

ISO 14001 認証取得状況

■ ISO 認証範囲拡大

芙蓉総合リースグループのISO 14001 認証取得範囲を拡大中

2008年7月、芙蓉オートリース、エフ・ネット営業本部をISO 14001 認証取得範囲に追加しました。

過去の芙蓉総合リースグループにおけるISO 14001 認証取得状況は以下のとおりです。

- 2006年7月、芙蓉総合リース本社とエフ・ジー・エル・サービス、芙蓉リース販売本社、エフ・ネット本社、アクア・アートでISO 14001の認証を取得。
- 2007年6月、芙蓉総合リースの全支店と芙蓉リース販売立川リユースセンター、エフ・ネット西東京分室、ワイ・エフ・リーシングに範囲拡大し、認証を取得。



■ ISO14001 認証取得範囲

適用区域	活動範囲
1 芙蓉総合リース 本社及び支店	リース業、割賦販売、融資その他の金融サービス業務 生命保険の募集業務
2 エフ・ジー・エル・サービス	損害保険代理業 営業事務の受託、総務・庶務事務の受託
3 芙蓉リース販売 本社及び立川リユースセンター	再リース契約代行処理 リース終了物件の売却・廃棄業務代行
4 エフ・ネット 本社技術部、 営業本部及び西東京分室	電子計算機・ソフトウェア・通信機器の販売
5 アクア・アート	鑑賞用水槽の製造・販売・レンタル・メンテナンス
6 ワイ・エフ・リーシング	リース業、割賦販売、融資その他の金融サービス業務
7 芙蓉オートリース 本社及び支店	自動車のリース・割賦・売買

環境教育

■ 環境教育研修

研修内容

社員等研修

- 1 2007年10月～12月
支店「エコドライブ10のすすめ」DVD研修
- 2 2007年10月～12月
「CSR報告書2007」研修
- 3 2007年4月～2008年3月
内部環境監査ロールプレイング研修
- 4 2008年5月
環境eラーニング

内部環境監査員研修

2008年1月
内部環境監査員研修

環境省作成のDVD「エコドライブ10のすすめ」による研修を、社用車のある27支店で実施しました。エコドライブをさらに推進する有意義な研修となりました。

なお、当研修は「チーム・マイナス6%事務局」のホームページで紹介されました。



エコドライブ研修
芙蓉総合リース池袋支店

オフィスにおける環境への取り組み

■ チーム・マイナス6%における活動

地球温暖化対策推進国民運動「チーム・マイナス6%」の活動として、会社でのエコオフィス活動の推進、家庭での「めざせ！

1人、1日、1kg CO₂削減運動の「私のチャレンジ宣言」への参加の奨励に取り組んでいます。



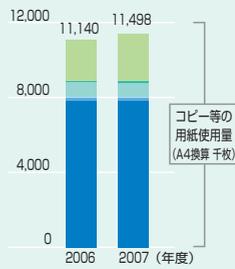
■ エコオフィス活動の推進

芙蓉総合リースグループでは、電気使用量の削減、コピー等の用紙使用量の削減、ゴミの分別、グリーン購入の推進をエコオフィス活動と呼び、ISO14001の環境目的・目標及び実施計画に基づいて活動を行っています。

● 電力使用量と二酸化炭素排出量の推移



● コピー等の用紙使用量の推移



※二酸化炭素排出係数は、東京電力のサステナビリティレポート2007の数値を使用しています。

■ 芙蓉総合リース+エフ・ジー・エル・サービス ■ エフ・ネット ■ アクア・アート
■ 芙蓉リース販売 ■ ワイ・エフ・リーシング ■ 芙蓉オートリース

会社概要 (2008年3月31日現在)

商号 芙蓉総合リース株式会社
(Fuyo General Lease Co., Ltd.)

従業員数 連結894名、単体558名

本社所在地 東京都千代田区三崎町3丁目3番23号(ニチレイビル)

営業拠点 (2008年10月3日現在)

■ 本社営業部及び支店：25カ所、海外現地法人：3法人

2008年3月期連結決算の概要

芙蓉総合リースグループの2008年3月期の業績(連結ベース)は、売上高3,991億円、経常利益179億円、当期純利益121億円でした。前年度に比較し、売上高1.9%増でしたが、経常利益は0.2%減、当期純利益は1.7%減となりました。売上高の約80%をリースから得ています。

● セグメント別売上高推移

(2007年3月期～
2008年3月期)



(単位：億円、単位未満は四捨五入)

「CSR報告書2008」お問い合わせ先及び情報入手先

芙蓉総合リース株式会社 CSRコンプライアンス室
〒101-8380 東京都千代田区三崎町3丁目3番23号
(ニチレイビル)

TEL: 03(5275)8815 FAX: 03(5275)8854